



平成11年8月2日

日本証券業協会
会長 加藤 精一 殿

本店所在地 宮城県栗原郡若柳町武鎗字花水前1番地1
会社名 株式会社 倉元 製作所
代表者 取締役社長 鈴木 忠勝
(コード番号 5216 店頭登録銘柄)

平成11年12月期(平成11年1月1日~平成11年12月31日) 中間業績予想との差異及び通期並びに連結業績予想の修正に関する通知書

平成11年12月期(平成11年1月1日~平成11年12月31日)の業績予想について、平成11年2月19日付決算短信及び平成11年2月19日付連結決算短信発表時の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績(単独)予想の修正

(1) 当中間期(平成11年1月1日~平成11年6月30日)との差異

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	11,000	110	100
今回修正(B)	12,725	391	374
増減額(B-A)	1,725	281	274
増減率	15.7%	255.5%	274.0%

(2) 通期の業績予想(平成11年1月1日~平成11年12月31日)の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	21,500	500	450
今回修正(B)	26,000	700	670
増減額(B-A)	4,500	200	220
増減率	20.9%	40.0%	48.9%

(3) 修正理由

当中間期は、売上高11,000百万円、経常利益110百万円、中間純利益100百万円を計画しておりましたが、

売上高は、液晶パネルが搭載されるノートパソコンや液晶モニターの販売が好調であったため、当社においても計画を上回る受注状況で推移しました。なかでもTFT関連製品においては受注増にタイムリーな増産で対応したほか、STN関連製品においても携帯電話や情報端末向け受注が好調に推移しました。

経常利益及び中間純利益については、生産の合理化及び経費削減に取り組んだほか、子会社からの配当金等により各々利益が予想を上回りました。

以上の理由により、売上高は12,725百万円、経常利益391百万円、中間純利益374百万円となる見込みであります。

下半期につきましても、液晶パネルの需給逼迫は続き、当社においては上半期と同様な受注状況が継続するものと思われます。

従いまして、平成11年12月期通期（平成11年1月1日～平成11年12月31日）としては、売上高26,000百万円、経常利益700百万円、当期純利益670百万円を予想しております。

(4) ご参考：前期の実績（平成10年1月1日～平成10年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	21,297	1,840	2,906

2. 連結業績予想の修正

(1) 連結業績予想(平成11年1月1日～平成11年12月31日)の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	28,500	1,000	500
今回修正(B)	31,000	1,000	500
増減額(B-A)	2,500	-	-
増減率	8.8%	-%	-%

(2) 修正理由

主として当社の業績(単独)予想の修正により、連結業績予想を修正するものであります。

(3) ご参考：前期の実績（平成10年1月1日～平成10年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	24,423	1,511	2,986

以 上